

—富良野消防署占冠支署からのお知らせ—

令和8年 7月10日

増加するリチウムイオン電池火災に注意！

近年、リチウムイオン電池に起因する火災が増加しており、モバイルバッテリーやスマートフォン、電動アシスト自転車用バッテリー等、日常生活において広く普及している製品による発火・発煙事故が全国的に発生しています。

こうした状況を踏まえ、関係省庁（消費者庁、経済産業省、国土交通省及び環境省）と連携し、リチウムイオン電池による事故を防ぐために必要な情報や、適切な廃棄方法等に関する情報を集約した「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト」が開設されましたので、周知いたします。

また、これから夏本番を迎えるにあたり、車内に放置されたモバイルバッテリーから出火する危険性がありますので、取り扱いには留意されますようお願いいたします。

- 1 「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト」で検索
URL <https://www.fdma.go.jp/relocation/lithium-ion/>
- 2 モバイルバッテリー火災の初期消火（リーフレット添付）



担 当：占冠支署 指導係（奥平・山西・山田）

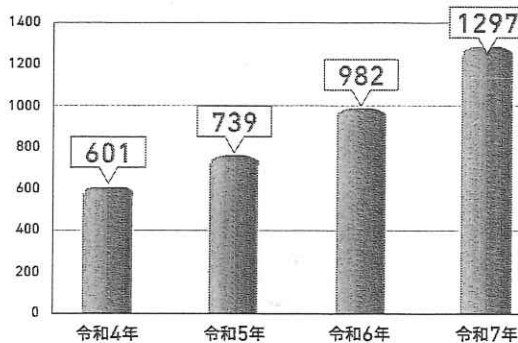
☎ ： 5 6 - 2 1 1 9 FAX：5 6 - 2 7 3 8

知っていますか？

モバイルバッテリー火災の 初期消火

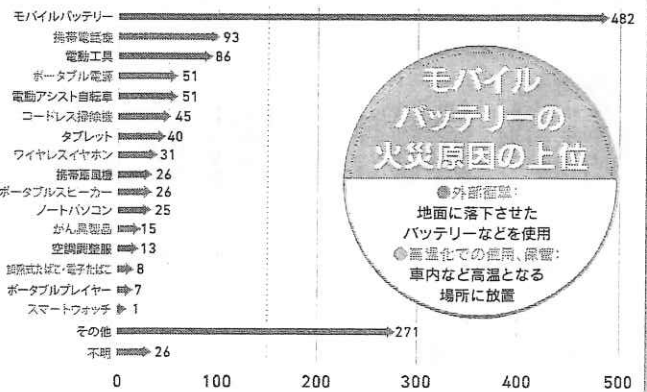
近年、モバイルバッテリーを発火源とする火災の件数が増加しています。

リチウムイオン電池等から出火した火災件数の推移(年別)



廃棄されたリチウムイオン電池等を回収中の塵芥車及びごみ処理関連施設から出火した火災件数を除く。

R7(1~12月) リチウムイオン電池等から出火した火災の件数



モバイル
バッテリーの
火災原因の上位

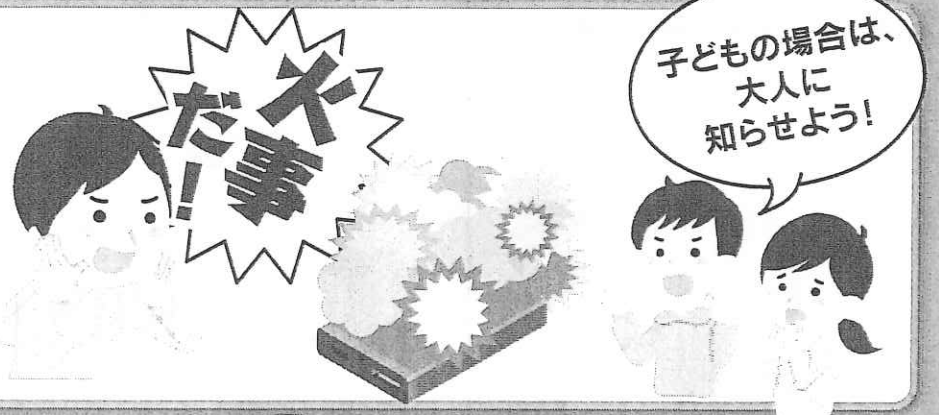
●外部衝撃:
地面に落下させた
バッテリーなどを使用
●高温化での使用、保管:
車内など高温となる
場所に放置

※消防本部において認知した火災の件数

モバイルバッテリーから出火したら？

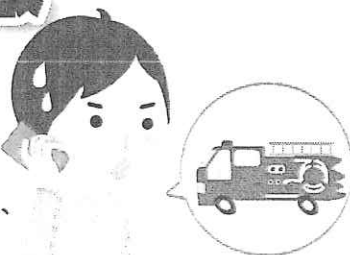
1 出火

モバイルバッテリーは、強い衝撃などにより、急に激しく燃え出す場合があります。その際は、まず周囲の人に火災であることを知らせてください。



2 通報

身の安全を確保してから119番通報をしましょう。周囲に人がいる場合は、通報を依頼し、消火の準備をしましょう。



3 消火の前に



モバイルバッテリーは、出火してからしばらくすると炎が弱まります。安全に近づけるようになってから消火をしましょう。

4

消火方法

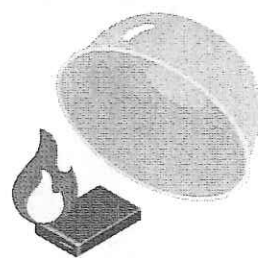
住宅用消火器を自宅に。しっかり常備を



近くに消火器がある時は、
消火器で消火しましょう。



消火器がない場合は、
バケツやペットボトルで
大量の水等をかけてください。



消火器等がない場合は、
ボウルや鍋等で、
覆うという対応もあります。

※炎が消えても再出火の可能性が
ありますので、消防隊が到着するまで
触れないようにしましょう。

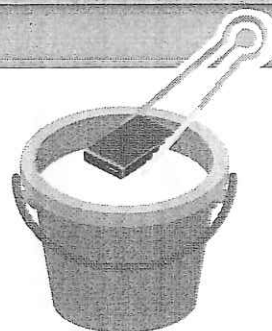
5

消火後の対応

一旦火が消えた後も再び出火する危険性があるので、

火ばさみ等を使ってバケツ等に水没させてください。

水没させた後は、すぐに取り出さず、消防隊が到着するまでそのままにしてください。



注意1



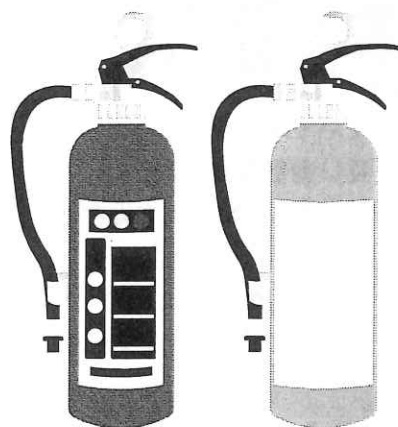
カーテン等、付近に
燃え移った場合は、
消火器等で初期消火してください。

注意2



危ないと感じたらすぐに逃げてください。
炎が天井に達した場合、
一般的に消火器での消火は困難です。

住宅用消火器



住宅用消火器として
販売されているものは、
全て電気火災に対応しています。

FDMA
消防とともに

総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency

このチラシの内容は、
モバイルバッテリー等比較的小型の
製品が火災になった場合のもです。

消防庁の
ホームページにて
動画を解説!



ゆるサイの
動画も
見てね!

消防庁広報用キャラクター ゆるサイ